

2023年度 統一試験 模擬問題  
第165回対策 解答・解説

第1問 (45点) \* 勘定科目は記号での解答となります。参考として、勘定科目も記入しています。

	借方科目	金額	貸方科目	金額	
1	当座借越 (ウ)	329,000	当座預金 (カ)	329,000	<p><b>Point</b> 前期の決算において、「当座預金」の貸方残高を「当座借越」に振り替えていたので、再振替仕訳により戻します。</p>
	( )		( )		
	( )		( )		
	( )		( )		
前期の決算時の仕訳					
	(当座借越)	329,000	(当座預金)	329,000	

	借方科目	金額	貸方科目	金額	
2	前受金 (工)	49,000	売上 (ウ)	245,000	<p><b>Point</b> 受け取った手付金は「前受金」で処理しています。商品を引き渡したときに「売上」を計上し、「前受金」を減らします。</p>
	売掛金 (オ)	196,000	( )		
	( )		( )		
	( )		( )		
売掛金：¥245,000 - ¥49,000 = ¥196,000					

	借方科目	金額	貸方科目	金額	
3	現金 (オ)	4,200	現金過不足 (イ)	4,200	<p><b>Point</b> 「帳簿残高&lt;実際有高」のため、現金過剰として「現金過不足」を貸方に計上します。</p>
	( )		( )		
	( )		( )		
	( )		( )		

	借方科目	金額	貸方科目	金額	
4	当座預金 (工)	371,000	受取手形 (カ)	371,000	<p><b>Point</b> 受取手形が決済され、減少したため「受取手形」を貸方に、当座預金に入金され増加したため、「当座預金」を借方に記入します。</p>
	( )		( )		
	( )		( )		
	( )		( )		

	借方科目	金額	貸方科目	金額	
5	買掛金 (ウ)	245,000	電子記録債務 (カ)	245,000	<p><b>Point</b> 買掛金の決済として、電子記録債務が発生していません。</p>
	( )		( )		
	( )		( )		
	( )		( )		

借方科目	金額	貸方科目	金額
建物(力)	175,000	未払金(オ)	560,000
修繕費(ウ)	385,000	( )	
( )		( )	
( )		( )	

6

修繕費： $\text{¥}560,000 - \text{¥}175,000 = \text{¥}385,000$

### Point

資本的支出は取得原価の増加として、収益的支出は費用として処理します。営業目的（商品売買）以外の未払いとなるので、「未払金」で処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入(エ)	67,900	前払金(ア)	10,500
( )		買掛金(イ)	56,000
( )		現金(オ)	1,400
( )		( )	

7

買掛金： $\text{¥}66,500 - \text{¥}10,500 = \text{¥}56,000$   
仕入： $\text{¥}66,500 + \text{¥}1,400 = \text{¥}67,900$

### Point

支払済の手付金は「前払金」で処理しています。商品を入荷したときに「仕入」を計上し、「前払金」を減らします。当社負担の引取運賃は、付随費用として仕入原価に含めます。

借方科目	金額	貸方科目	金額
通信費(エ)	5,600	貯蔵品(ウ)	19,600
租税公課(オ)	14,000	( )	
( )		( )	
( )		( )	

8

貯蔵品： $\text{¥}5,600 + \text{¥}14,000 = \text{¥}19,600$   
前期の決算時の仕訳

(貯蔵品)	19,600	(通信費)	5,600
		(租税公課)	14,000

### Point

決算時に、期中に費用計上した収入印紙・郵便切手が残っている場合、「貯蔵品」に振り替えます。本間では、前期の決算時に行った「貯蔵品」に振り替える仕訳を再振替仕訳（逆仕訳）します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰越利益剰余金(力)	192,500	未払配当金(ウ)	175,000
( )		利益準備金(オ)	17,500
( )		( )	
( )		( )	

9

繰越利益剰余金： $\text{¥}175,000 + \text{¥}17,500 = \text{¥}192,500$

### Point

株主総会時には、配当金は未払いなので、「未払配当金」で処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金(力)	39,200	売掛金(エ)	39,200
( )		( )	
( )		( )	
( )		( )	

10

### Point

前期に発生した売掛金には、決算時に貸倒引当金が設定されているため、回収不能になったときには「貸倒引出金」を取り崩します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
普通預金 (ア)	702,800	貸付金 (ウ)	700,000
( )		受取利息 (カ)	2,800
( )		( )	
( )		( )	

11

受取利息： $¥700,000 \times 1.2\% \times \frac{4\text{か月}}{12\text{か月}} = ¥2,800$

普通預金： $¥700,000 + ¥2,800 = ¥702,800$

**Point**  
元利合計  
→元金と利息の合計

借方科目	金額	貸方科目	金額
車両運搬具減価償却累計額 (イ)	499,999	車両運搬具 (カ)	500,000
現金 (ア)	86,000	固定資産売却益 (オ)	85,999
( )		( )	
( )		( )	

12

帳簿価額： $¥500,000 - ¥499,999 = ¥1$

売却価額： $¥86,000$

売却損益： $¥86,000 - ¥1 = ¥85,999$  (益)

**Point**  
売却する資産の売却価額と帳簿価額の差額で、売却損益を計算します。  
帳簿価額 = 取得原価 - 減価償却累計額

売却価額 - 帳簿価額  
+ の場合 → 売却益  
- の場合 → 売却損

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金 (ウ)	215,600	売上 (エ)	196,000
( )		仮受消費税 (ア)	19,600
( )		( )	
( )		( )	

13

仮受消費税： $¥196,000 \times 10\% = ¥19,600$

売掛金： $¥196,000 + ¥19,600 = ¥215,600$

**Point**  
税抜方式で記帳するので、売上は消費税を除いた金額となります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
差入保証金 (ア)	350,000	普通預金 (オ)	700,000
支払手数料 (カ)	175,000	( )	
支払家賃 (エ)	175,000	( )	
( )		( )	

14

普通預金： $¥350,000 + ¥175,000 + ¥175,000 = ¥700,000$

**Point**  
保証金(敷金)は「差入保証金」、不動産会社への手数料は「支払手数料」で処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
備品 (イ)	476,000	未払金 (エ)	476,000
( )		( )	
( )		( )	
( )		( )	

15

**Point**  
配送料と据付費は、付随費用として備品の取得原価に含めます。  
営業目的(商品売買)以外の未払いとなるので、「未払金」で処理します。

仕訳1組につき3点 合計45点

第2問 (20点)

(1) \* 勘定科目等は記号での解答となります。参考として、勘定科目等も記入しています。

仮払法人税等

②(11/30) [イ. 普通預金] <★ 266,000 >	③(3/31) [エ. 法人税等] < 266,000 >
---------------------------------	-------------------------------

未払法人税等

①(5/27) [イ. 普通預金] <★ 280,000 >	4/1 [★キ. 前期繰越] < 280,000 >
(3/31) [ク. 次期繰越] < 301,000 >	③(3/31) [エ. 法人税等] <★ 301,000 >
< 581,000 >	< 581,000 >

法人税等

③(3/31) [ア. 諸 口] <★ 567,000 >	④(3/31) [ウ. 損 益] < 567,000 >
-------------------------------	------------------------------

損		益	
3/31 仕 入	8,750,000	3/31 売 上	11,900,000
〃 給 料	980,000		
〃 そ の 他 費 用	280,000		
④(〃) [エ. 法人税等] <	567,000 >		
⑤(〃) [★ケ. 繰越利益剰余金] <	1,323,000 >		
<	11,900,000 >		< 11,900,000 >

\* 上記の○番号は、解説の番号と対応しています。

★ 1つにつき2点 合計12点

**解説****前期 期中**（当期の総勘定元帳には転記しません。）

X2年11月25日 法人税等の中間申告。普通預金口座から納付。

（仮払法人税等）	252,000	（普通預金）	252,000
----------	---------	--------	---------

**前期 決算整理**（当期の総勘定元帳には転記しません。）

X3年3月31日 決算において法人税等の確定額の算定。未払法人税等の計上。

（法人税等）	532,000	（仮払法人税等）	252,000
		（未払法人税等）	280,000*

\*  $\frac{¥532,000}{\text{法人税等確定額}} - \frac{¥252,000}{\text{仮払法人税等}} = ¥280,000$

**当期 期首**

X3年4月1日 未払法人税等 前期繰越額 ¥280,000

**当期 期中**

X3年5月27日 前期にかかる確定申告額を普通預金口座から納付。

①（未払法人税等）	280,000	（普通預金）	280,000
-----------	---------	--------	---------

X3年11月30日 前期確定額の半額を中間納付額として、普通預金口座から納付。

②（仮払法人税等）	266,000*	（普通預金）	266,000
-----------	----------	--------	---------

\*  $\frac{¥532,000}{\text{前期確定額}} \div 2 = ¥266,000$

**当期 決算整理**

X4年3月31日 決算において法人税等の確定額の算定。未払法人税等の計上。

③（法人税等）	567,000*	（仮払法人税等）	266,000
		（未払法人税等）	301,000**

\*  $\frac{\text{税引前当期純利益} : ¥11,900,000 - ¥10,010,000}{\text{損益勘定(貸方) 損益勘定(借方)}} = ¥1,890,000$

法人税等確定額 :  $¥1,890,000 \times 30\% = ¥567,000$

\*\*  $\frac{¥567,000}{\text{法人税等確定額}} - \frac{¥266,000}{\text{仮払法人税等}} = ¥301,000$

X4年3月31日 法人税等勘定から損益勘定への振替え（損益振替）

④（損益）	567,000	（法人税等）	567,000
-------	---------	--------	---------

X4年3月31日 当期純利益を損益勘定から繰越利益剰余金勘定へ振替え（資本振替）

⑤（損益）	1,323,000*	（繰越利益剰余金）	1,323,000
-------	------------	-----------	-----------

\*  $\frac{\text{当期純利益} : ¥1,890,000 - ¥567,000}{\text{税引前当期純利益 法人税等確定額}} = ¥1,323,000$

(2)  
問 1

商品有高帳

(移動平均法)

X 商品

X8年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1 前月繰越	140	300	42,000				140	300	42,000
	5 売 上				( 84)	( 300)	( 25,200)	( 56)	( 300)	( 16,800)
	8 売上戻り	( 14)	( 300)	( 4,200)				( 70)	( 300)	( 21,000)
	12 仕 入	( 210)	( 308)	( 64,680)				( 280)	( 306)	( 85,680)
	22 売 上				( 252)	( 306)	( 77,112)	( 28)	( 306)	( 8,568)
	30 次月繰越				( 28)	( 306)	( 8,568)			
		( 364)	—	( 110,880)	( 364)	—	( 110,880)			

問 2

¥

60,368

1 つにつき 2 点 合計 8 点

解説

問 1 商品有高帳の作成 (移動平均法)

6月1日 摘要欄 前月繰越

受入欄 140個×@¥300=¥42,000

残高欄 140個×@¥300=¥42,000

5日 摘要欄 売上 ( 84個×@¥500=¥42,000) … A

払出欄 84個×@¥300=¥25,200 (売上原価) … a

残高欄 56個×@¥300=¥16,800

8日 摘要欄 売上返品 (△ 14個×@¥500=△¥7,000) … B

受入欄 14個×@¥300=¥4,200 (売上原価のマイナス) … b

残高欄 70個×@¥300=¥21,000

12日 摘要欄 仕入

受入欄 210個×@¥308=¥64,680

残高欄 280個×@¥306\*=¥85,680

\* 平均単価： $\frac{¥21,000+¥64,680}{70個+210個} = @¥306$

22日 摘要欄 売上 ( 252個×@¥490=¥123,480) … C

払出欄 252個×@¥306=¥77,112 (売上原価) … c

残高欄 28個×@¥306=¥8,568

30日 摘要欄 次月繰越

払出欄 28個×@¥306=¥8,568

問 2

純売上高 … ①

A ¥ 42,000

B △¥ 7,000

C ¥123,480

¥158,480

売上原価 … ②

a ¥25,200

b △¥ 4,200

c ¥77,112

¥98,112

売上総利益

① ¥158,480

② −¥ 98,112

¥ 60,368

第3問 (35点)

貸借対照表

X8年3月31日

(単位:円)

③ 現金	( 312,200 )	買掛金	( 798,000 )
普通預金	( 648,200 )	借入金	( ★2,135,000 ) ②
① 売掛金	( 560,000 )	(未払)費用	( 8,400 ) ⑨
④ 貸倒引当金	( 11,200 ) (★ 548,800)	(未払)消費税	(★ 278,600) ⑤
⑥ 商品	(★ 266,000)	未払法人税等	( 21,000 ) ⑩
⑧ (前払)費用	(★ 56,000)	資本金	( 3,850,000 )
⑦ 建物	( 3,780,000 )	繰越利益剰余金	(★ 606,200) ⑫
⑦ 減価償却累計額	( 2,646,000 ) ( 1,134,000 )		
⑦ 備品	( 1,260,000 )		
⑦ 減価償却累計額	( 728,000 ) (★ 532,000)		
土地	( 4,200,000 )		
	( 7,697,200 )		( 7,697,200 )

損益計算書

X7年4月1日からX8年3月31日まで

(単位:円)

⑥ 売上原価	(★ 2,723,000)	売上高	( 5,670,000 )
給料	( 1,939,000 )		
法定福利費	( 116,900 )		
④ 貸倒引当金繰入	( 7,000 )		
⑦ 減価償却費	(★ 318,500)		
通信費	( 245,000 )		
水道光熱費	( 64,400 )		
⑧ 保険料	( 112,000 )		
③ 雑損	(★ 7,000)		
⑨ 支払利息	(★ 67,200)		
⑩ 法人税等	( 21,000 )		
⑪ 当期純(利益)	(☆ 49,000)		
	( 5,670,000 )		( 5,670,000 )

\* 上記の○番号は、解説の番号と対応しています。

★ 1つにつき完答で3点

☆ 1つにつき完答で2点

合計35点

**Step 1 決算整理仕訳を行い、貸借対照表と損益計算書に記入する**

① 仮受金の処理

「仮受金」は得意先から売掛金を回収したものと判明したので、「仮受金」を減少させ、「売掛金」を減少させます。

( 仮 受 金 )	56,000	( 売 掛 金 )	56,000
-----------	--------	-----------	--------

売掛金： $¥616,000 - ¥56,000 = ¥560,000$

② 当座預金勘定の貸方残高の処理

決算時に当座預金勘定が貸方残高となっている場合、銀行からの借入れと考え、「当座借越」あるいは「借入金」等、適切な勘定科目に振り替えます。なお、問題文より、当座借越勘定の金額は、貸借対照表上では借入金に含めて表示します。

( 当 座 預 金 )	35,000	( 当 座 借 越 )	35,000
-------------	--------	-------------	--------

借入金： $¥2,100,000 + ¥35,000 = ¥2,135,000$

③ 現金過不足の処理

「実際有高<帳簿残高」なので、差額を「雑損」で処理します。

$¥312,200 - ¥319,200 = \Delta ¥7,000$  (雑損)

( 雑 損 )	7,000	( 現 金 )	7,000
---------	-------	---------	-------

雑損： $¥7,000$   
現金： $¥319,200 - ¥7,000 = ¥312,200$

④ 貸倒引当金の設定

(1) 貸倒引当金の当期設定額を求めます。

貸倒引当金(売掛金)： $(¥616,000 - ¥56,000) \times 2\% = ¥11,200$

(2) (1)の金額と決算整理前残高試算表の金額との差額を求め、貸倒引当金の繰入額を算定します。

$¥11,200 - ¥4,200 = ¥7,000$

( 貸 倒 引 当 金 繰 入 )	7,000	( 貸 倒 引 当 金 )	7,000
-------------------	-------	---------------	-------

貸倒引当金繰入： $¥7,000$

⑤ 消費税の処理

決算において、「仮受消費税」と「仮払消費税」との差額を「未払消費税」で処理します。

未払消費税： $¥567,000 - ¥288,400 = ¥278,600$

( 仮 受 消 費 税 )	567,000	( 仮 払 消 費 税 )	288,400
		( 未 払 消 費 税 )	278,600

⑥ 売上原価の算定(仕入勘定で売上原価を算定すると仮定)

(1) 決算整理前残高試算表の「繰越商品」(期首商品棚卸高)を「仕入」に振り替えます。

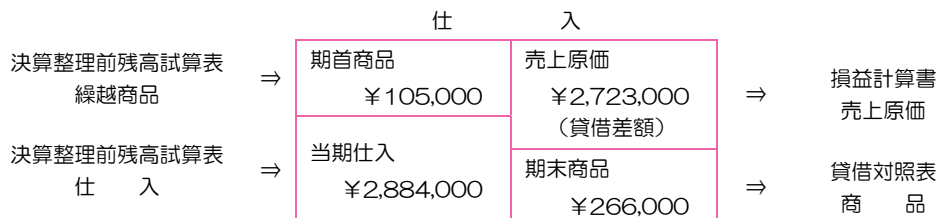
( 仕 入 )	105,000	( 繰 越 商 品 )	105,000
---------	---------	-------------	---------

(2) 期末商品棚卸高を「仕入」から「繰越商品」に振り替えます。

( 繰 越 商 品 )	266,000	( 仕 入 )	266,000
-------------	---------	---------	---------

繰越商品 → 商 品 (表示科目)： $¥105,000 - ¥105,000 + ¥266,000 = ¥266,000$

仕 入 → 売上原価 (表示科目)： $¥2,884,000 + ¥105,000 - ¥266,000 = ¥2,723,000$





### ⑦減価償却費

当期の減価償却費を求めます。なお、期中取得分の備品については、月割計算（8か月分）を忘れないようにしましょう。

建物： $\yen 3,780,000 \div 40 \text{年} = \yen 94,500$

備品： $\yen 168,000 + \yen 56,000 = \yen 224,000$

既 存 分： $(\yen 1,260,000 - \yen 420,000) \div 5 \text{年} = \yen 168,000$

期中取得分： $\yen 420,000 \div 5 \text{年} \times \frac{8 \text{か月}}{12 \text{か月}} = \yen 56,000$

(減 価 償 却 費)	318,500	(建物減価償却累計額)	94,500
		(備品減価償却累計額)	224,000

減 価 償 却 費： $\yen 94,500 + \yen 224,000 = \yen 318,500$

建物減価償却累計額 → 減価償却累計額（表示科目）： $\yen 2,551,500 + \yen 94,500 = \yen 2,646,000$

備品減価償却累計額 → 減価償却累計額（表示科目）： $\yen 504,000 + \yen 224,000 = \yen 728,000$

### ⑧保険料の前払計上

保険料の前払額を計上します。

(前 払 保 険 料)	56,000	(保 険 料)	56,000
-------------	--------	---------	--------

前払保険料 → 前払費用（表示科目）： $\yen 56,000$

保 険 料： $\yen 168,000 - \yen 56,000 = \yen 112,000$

### ⑨利息の未払計上

借入金のうち $\yen 700,000$ は当期の12月1日に借り入れているため、4か月分（12月1日～翌年3月31日）の利息を月割計算で未払計上します。

未払利息 → 未払費用（表示科目）： $\yen 700,000 \times 3.6\% \times \frac{4 \text{か月}}{12 \text{か月}} = \yen 8,400$

(支 払 利 息)	8,400	(未 払 利 息)	8,400
-----------	-------	-----------	-------

支払利息： $\yen 58,800 + \yen 8,400 = \yen 67,200$

## Point

収益・費用の「前払い・前受け」「未収・未払い」

頭の文字に、「前」・「未」が付く科目であれば、貸借対照表に載せるものと覚えておきましょう。

また、表示科目を記入するときは、間違えやすいので注意しましょう。

貸借対照表		
(借 方)	(貸 方)	
前 払	未 払	← 費 用
未 収	前 受	← 収 益

### ⑩未払法人税等

中間納付をしていないので、法人税等の金額は $\yen 21,000$ となります。

未払法人税等： $\yen 21,000$

法 人 税 等： $\yen 21,000$

(法 人 税 等)	21,000	(未 払 法 人 税 等)	21,000
-----------	--------	---------------	--------

## Step 2 その他の勘定科目の金額を貸借対照表・損益計算書に記入する

Step 1 の決算整理仕訳で変動のなかった決算整理前残高試算表の勘定科目の金額を、それぞれ貸借対照表・損益計算書に記入します。

## Step 3 当期純利益（純損失）の算定

損益計算書の貸借差額を、当期純利益（または当期純損失）として記入します。

損益計算書（貸方）¥5,670,000－（借方）¥5,621,000＝¥49,000（当期純利益）… ⑪

貸借対照表の繰越利益剰余金は、決算整理前残高試算表の金額に当期純利益（または当期純損失）の金額を加減した金額となります。

繰越利益剰余金：¥557,200＋¥49,000＝¥606,200… ⑫

### ***Point***

当期純利益（または当期純損失）の金額は、繰越利益剰余金に加減する。